

日本ウマ科学会 2023 年度 第 3 回常任理事会議事録

日 時：2023 年 7 月 28 日（金）13：30～15：55

場 所：日本装削蹄協会（JRA 新橋分館 4 階会議室）

出席者：青木 修 会長
田谷 一善 副会長
笠嶋 快周 副会長
山中 隆史 庶務担当常任理事
半澤 恵 会計担当常任理事
楠瀬 良 編集担当常任理事
近藤 高志 学術担当常任理事
桑原 正貴 国際担当常任理事
平賀 敦 広報担当常任理事
佐々木 直樹 臨床担当常任理事
高橋 敏之 ICEEP 国際委員（開催組織委員会 副会長）
福田 健太郎 事務局長

議題：

はじめに 青木 会長 挨拶

1. 役員および評議員の選考（山中・事務局）
2. 各賞選考委員会（楠瀬・事務局）
3. 第 36 回学術集会について（近藤・事務局）
4. 認定馬臨床獣医師資格更新手続きについて（佐々木）
5. ICEEP12 の開催準備状況について（高橋）
6. 海外渡航支援事業申込者について（事務局）
7. その他
 - 1) 第 35 回学術集会 企業展示収入報告（事務局）
 - 2) 第 36 回学術集会 アンケート実施について（事務局）
 - 3) ウマ用語集について（楠瀬・事務局）
 - 4) 新規事務援助従事員の雇用について（事務局）

議事概要：

議題 1. 役員および評議員の選考

- 本年度末は役員・評議員任期満了のため、改選の必要がある旨山中常任理事より説明。候補者選考委員会規程第 2 条および第 3 条に基づき本会を次期役員・評議員選考委員会とみなすと説明を行った。
- 役員・評議員については現在のメンバーをそのまま選出とする案が承認された。
- 各種委員会委員についても役員の任期に一致することから、同様に次期委員候補者を選出した。編集委員については安齊了委員が今期で退任。学術委員については関一洋委員が退任し、村瀬晴崇 JRA 日高育成牧場 生産育成研究室長を後任に充てる案を事務局より説明。一同承認。

議題 2. 各賞選考委員会

- 楠瀬常任理事より説明。学会賞については推薦なし。奨励賞は 1 名の推薦あり。一同承認。これを受けて選考規程第 6 条に基づき、メールによる臨時理事会を開催して受賞を正式決定させる旨、山中常任理事より説明。

議題 3. 第 36 回学術集会について

- 近藤常任理事より第 36 回学術集会の日程について説明。事務局より、初日と 2 日目の第 3 会場は別室であり注意が必要であることを補足説明。
- Roger Smith 氏の講演内容は、自動歩様解析装置による跛行診断や核シンチグラフィの応用といった内容になる予定であると説明。謝先生の旅程や宿泊については詳細を調整中。
- 伯楽会による絵画展について、多くの展示希望者がおり、できれば昨年の 2 倍程度の展示スペースを確保してほしいとの要望があることから、この件について事務局で検討を行うこととした。
- 事務局より開催要領に関する詳細を説明。非会員の発表者には入会をお願いしているが、非会員の参加費よりも会員の年会費＋参加費の方が高いため心理的ハードルになっている。また、現在学術集会における発表自体を会員特典としていて入会の一助となっているが、会員の裾野を広げるには効果は限定的である。このため、本学術集会について、参加者は全て会員とする案が提案された。
- 本学術集会について、非会員の参加費を支払った者（すなわち全ての参加者）について会員とみなし、JES や Hippophile の定期購読を含めた特典をお試しで付与する。これにより会員に与えられた発表特典も参加者全員に許可される。従来の会員の年会費＋参加費よりも 1,000 円安い料金で参加できるので、事実上の値下げである。
- 本案を承認した場合、なるべく早くこのことを広報しないと、学術集会発表

を目的に入会してくる方が多く支払いをする可能性が出てくる。本案の内容は、学術集会開催要領発表と同時あるいは先行告知の必要があるとの意見。

- 「あくまでも非会員がいい」という参加者については個別に対応する。そういった方に配慮するためにも、事前告知や告知方法については注意が必要という意見。
- まずは本案の方法は期限を決めずに始めてみる方向で承認された。

議題 4. 認定馬臨床獣医師資格更新手続きについて

- 佐々木常任理事より、更新手続きを行うにあたり、事務作業の都合上規程改正の必要が生じたため認定規程の改定案が示され、一同承認。
- 今回の資格更新申請を行った者は、おしなべて「指導認定馬臨床獣医師」とするとのこと。
- 受験申込票および更新申請書に「個人情報の取り扱い方法」に関する文言を付加するよう提案がなされ、承認。

(以下、高橋 ICEEP 国際委員が途中参加する形で進行)

議題 5. ICEEP12 の開催準備状況について

- 高橋 ICEEP 国際委員より、現在までの開催準備状況が説明された。
- ICEEP12 のロゴ作成費用は国内のある企業で 28 万（税抜き）と見積もられているので、来年度のウマ科学会予算における国際学会対応費を増額して対応することとする。
- ICEEP 国際委員 7~8 名が事前に日本の視察をしたいと要望している。この旅費のうち航空券代は ICEEP 本体が負担する予定。
- 高橋氏に負担がかかりすぎないように、ワーキンググループ結成の提案。青木会長、笠嶋副会長、平賀常任理事、桑原国際担当常任理事、高橋 ICEEP 国際委員に現運動科学研究室のメンバーを編成し設置して、視察の案件を含めた会計面の見通しや今後のロードマップを早期に、次回の常任理事会までに決定することとする。
- ICEEP ホームページに国内委員の顔写真を載せなければならない。まず招致時のメンバーを、後日ワーキンググループメンバーを掲載することとした。

(高橋委員退席)

議題 6. 海外渡航支援事業申込者について

- 事務局より、申込者が 2 名おり、国際委員会における審議により採択されていることを報告。規則第 6 条に基づき、支援金の交付を決定。

議題 7. その他

1) 第 35 回学術集会 企業展示収入報告

- 昨年行われた学術集会における企業展示収入は予算 250 万円を上回った。コロナの不安がない本年は昨年以上の企業展示が見込めるので増収が期待できる。
- 近年、国内の動物医療で承認されていない機器の展示に当局（農水省）の指導が入るケースが散見されている。企業展示専門業者がこのことを心得ているかを確認すべきとの意見があった。

2) 第 36 回学術集会 アンケート実施について

- 今後の学術集会開催の参考にするための簡単な web アンケートを会期中に実施することを提案。一同承認。同時に既存会員の新ウマ用語集配布希望を調査することとする。

3) ウマ用語集について

- 弘済会からの金銭的支援は不可能となったが、必要な予算は次年度に計上する予定。来年 1 月発行をめどに編集作業を続行する予定。

4) 新規事務援助従事員の雇用について

- 現任者の来年の雇用終了に伴って、新規従事員を 10 月より 1 名雇用する予定。当面 2 名体制で仕事の引継ぎを行うことについて報告。

(15:55 終了)